

広瀬貞三資料を読む

日程・場所

3月24日（月）14:00～

立命館大学国際平和ミュージアム・セミナー室1

※どなたでも予約不要でご参加いただけます

報告者

庵逄 由香 先生（立命館大学文学部・文学研究科教授）

イ・スンヒョンさん（立命館大学文学研究科博士課程後期2回生）

小川 拓郎 さん（立命館大学文学研究科博士課程前期2回生）

嘉名 侑希 さん（立命館大学文学研究科博士課程前期1回生）



リニューアル（2023年）で新設されたテーマ展示「帝国日本の植民地・占領地」

リニューアル後の国際平和ミュージアムには、「植民地」をテーマとする特設展示が新設されました。現在これに関わって、平和教育研究センターの研究プロジェクト・植民地資料研究会では、故広瀬貞三氏（元福岡大学教授、朝鮮近代史）が40年以上かけて収集・所蔵していた朝鮮植民地に関わる資料の整理・目録化が進められています。この「広瀬資料」には、朝鮮に関わる人物の手紙・手帳・日記・家族写真などのエゴドキュメントや、総督府公文書原本、朝鮮軍・満州軍関連の写真帳・雑誌など、希少資料が多く含まれていることがすでにわかっています。

今回の研究会では、植民地資料研究会の代表である庵逄由香先生をはじめ、実際に資料整理に当たっている本学院生3名から、「広瀬資料」の沿革（受入れの経緯など）と概要、資料紹介をおこなっていただき、本資料群についての理解を深めることを目的としています。ご関心のある方はぜひご参加ください。